

演習問題

「得点できたかどうか」「○か×か」ではなく、問題文を読んだ時に、「その関連の知識が、頭の中にどう収納されているのか、フォーカスポイントはどこか」を簡単に**余白に描き出して**みてください

ウラ模試 1

[No.13] 給排水衛生設備に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 上水受水槽と別に設ける消火用水槽として、建築物の地下ピットを利用した。
2. 節水こま入り給水栓は、こまの底部を普通こまより大きくした節水こまによって、ハンドルの開度が小さい時の吐水量を少なくして、節水を図る水栓である。
3. 雨水排水管の管径の算定において、壁面に吹き付ける雨水が下部の屋根面に流下するので、一般に、この壁面の面積を下部の屋根面積(水平投影面積)に加算する。
4. 事務所ビルにおいて、飲料用受水槽の容量を、1日の予想給水量の1/2程度とした。

ウラ模試 1

[No.14] 給排水衛生設備に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 衛生器具の設置個数の決定に当たり、器具利用形態については、一般に、事務所や百貨店は任意利用形態に分類される。
2. ループ通気方式は、各衛生器具のトラップごとに取り出した通気管を通気横枝管に接続し、その端部を通気立て管等に接続する方式である。
3. 排水再利用の原水として、洗面器や手洗器からの排水だけでなく、厨房排水や便器洗浄排水も利用することができる。
4. ブローアウト式の洋式大便器は、サイホンボルテックス式と同様に水溜り面が広く、汚物の付着や臭気の発散が少なく衛生的である。

ウラ模試 1

[No.17] 電気設備に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 力率は、交流回路に電力を供給する際の「電圧と電流との積」に対する皮相電力の割合であり、電動機や放電灯の力率は、一般に、0.6～0.8である。
2. 電圧の種別のうち、7,000Vを超えるものを特別高圧という。
3. 低圧の配線に用いられるPF管は、CD管と同じ樹脂製のコルゲート管であるが、耐燃性(自己消火性)があるので、簡易間仕切内の配管に用いることができる。
4. 3路スイッチは、2箇所のスイッチにより、同一の電灯を点滅させることができる。